



行方市  
そう ごう けい かく そう ごう せん りやく  
 総合計画・総合戦略



子ども版ばん

行方市の未来えがを描きじっ実行こうする計画



行方市



# 1 何をするための計画か

この計画は、これからの行方市をどんなまちにしていきたいのかという  
 未来の目標をみんなで考え、その実現に向けて10年先の将来までまちづく  
 りを進めていくためにつくる大切なものです。

人が少なくなったり、高齢者が増えたりする中で、誰もが安心して暮らし  
 続けられるようにするために、まちの良いところを生かしながら、何を大切  
 にし、どんな順番でまちづくりに取り組んでいくのかを決めていきます。

また、市役所だけでなく、市民や地域の団体な  
 ど、たくさんの方が力を合わせて良い方向に進ん  
 でいくための道しるべとなるものです。

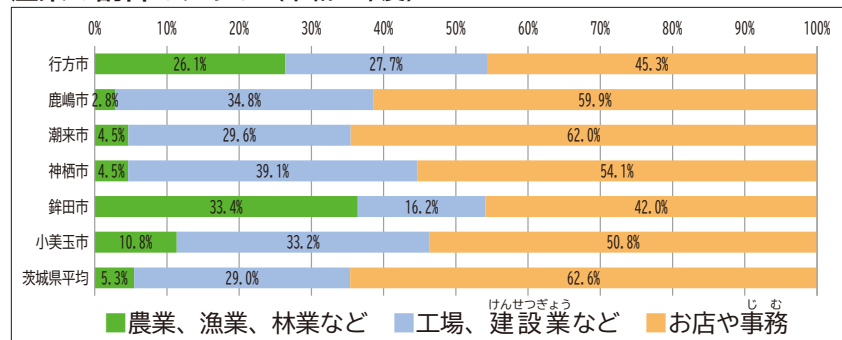


# 2 行方市の今（その1）

## 行方市の産業

行方市で働いている人  
 の仕事を比べてみると、  
 農業や漁業などの仕事を  
 している人は26.1%で、  
 茨城県の平均よりも多くな  
 っています。

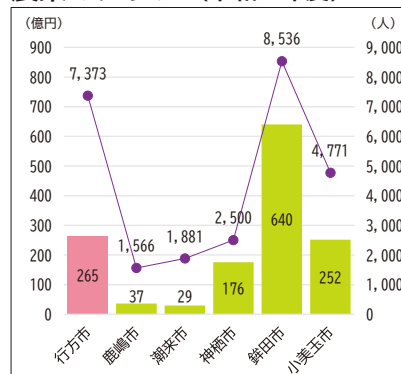
産業の割合のグラフ（令和2年度）



## 行方市の農業出荷額

行方市でつくられてい  
 る農産物の値段を全部合  
 わせると、265億円になり  
 ます。これは、茨城県  
 の中で2番目に多い金額  
 です。

農業のグラフ（令和2年度）



- 農業出荷額※（行方市）
- 農業出荷額
- 農家人口※

※農業出荷額の意味：農産物がどれ  
 くらい売れたか「をあらわす値段  
 のことです。

※農家人口の意味：農業をしている  
 人の人数のことです。

行方市を良くすることの一つとして、市で盛んな農業を良くすることが考えられます。

**総合計画**とは：活気ある住みやすいまちにするために、必要な取組をまとめた計画。

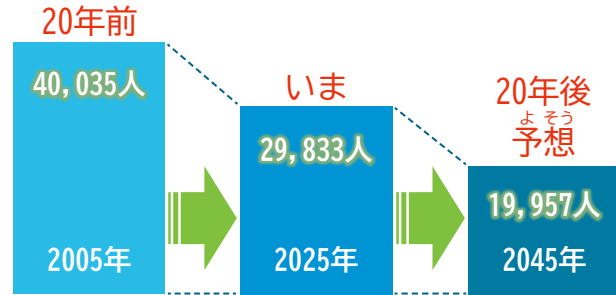
**総合戦略**とは：地域の課題を解決し、魅力を高めて人が集まりやすいまちにするための計画。

### 3 行方市の今（その2）

#### 行方市の人口

皆さんが住んでいる行方市の人口は、20年前の2005年には40,035人でしたが、2025年には29,833人まで減少しており、20年後の2045年の将来の人口は19,957人まで減ってしまうことが予想されています。

#### 行方市の人口の移り変わり



住んでいる人が少なくなると、どうなってしまうのでしょうか？



お店やお医者さんが減ってしまう・・・

働くところが少なくなると若い人が減ってしまう・・・

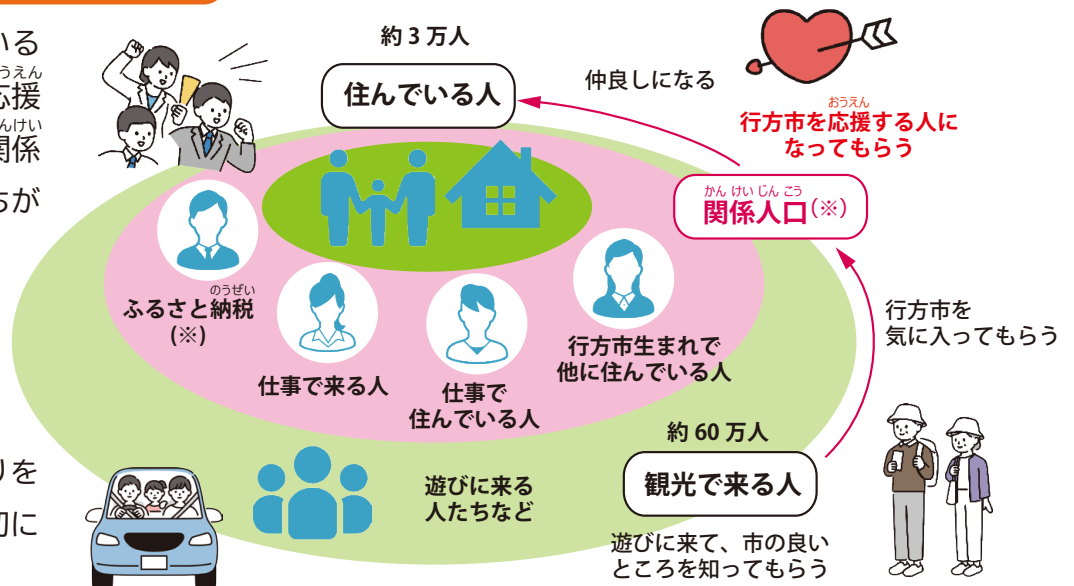
まちに元気がなくなってさびしくなっていく・・・

みなさんと一緒にどうしたら元気な行方市でいられるかを考え、進めていきます。

### 4 関係人口を増やす

まちの外に住んでいるけれど、そのまちを応援してくれる人たち（関係人口）が増えるとまちが元気になります。

住んでいる人だけでなく、行方市を好きになって応援してくれる人とのつながりを広げていくことが大切になってきます。



※関係人口の意味：行方市に住んでいなくても、行方市を応援してくれる人たちのことです。  
 ※ふるさと納税の意味：自分が応援したい市にお金を寄付できるしくみのことです。

例えば、関係人口を増やしていくことが、市を元気にすることにつながると考えられます。

## 5 まちづくりの大切な考え方

これからのまちづくりの大切な考え方を、次のように決めました。

### 今住んでいる人が安心して暮らせるまち

みんなが安心して暮らし、これからも住み続けられるまちを目指します。

医療や子育ての環境を大切にしながら、みんなで協力してより良いまちをつくれます。



### 若い人が将来の夢を考えられるまち

若い人が「このまちに住み続けたい」と思えるように、行方ならではの仕事や体験を増やし、夢や希望を持って未来を描けるまちを目指します。



### 働く人がいきいきと働けるまち

地域の人や会社が協力して、行方の自然や特産品、いろいろな活動の良さを生かし、仕事を生み出して元気なまちを目指します。



### 離れていても大好きで応援したくなるまち

行方に住んでいなくても、行方を応援してくれる人とのつながりを大切に、みんなで協力して、元気で続いていくまちづくりを進めます。



## 6 行方市が目標とするまち



ひとりひとり ゆた みりょく  
一人一人にとって豊かで魅力あふれるふるさと、行方

～行方ならではの個性ある価値の創造と、  
人とのつながりを大切にした関係人口の拡大を目指して～

これからの行方市は、「住みたい」「選びたい」と思ってもらえる「まち」になることが大切です。そのために、行方市ならではの自然や文化などの良いところを大切に、みんなが「行方っていいな」と思える「まち」をつくっていきたいと考えています。

また、今行方市に住んでいる人だけでなく、行方市から離れて暮らしている人や、行方市を応援してくれる人たちを関係人口といますが、こういった人たちともつながり、みんなでこれからも続く行方市をつくっていきたいと考えています。



## 7 まちづくりのためにやっていくこと

### ① 健康・福祉・子育て

だれ 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり

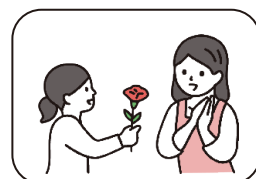
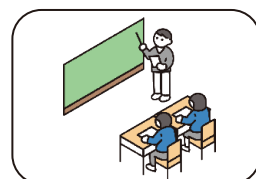
- ・みんなが毎日元気に過ごせるように、健康づくりを大切にします。
- ・病気やけがをしたときには、だれでも安心してお医者さんにかかれるまちにします。
- ・赤ちゃんや子どもを育てる家族が困らないように、子育てのお手伝いや見守りをします。
- ・お年寄りや体の不自由な人も、安心して暮らせるように、みんなで支え合います。
- ・困ったときには、一人にしないで、まち全体で助け合うしくみをつくり、子どもからお年寄りまで、誰もが大切にされるまちをめざします。



### ② 教育・文化・スポーツ

ゆた 豊かな心と すこ 健やかな体を育てるまちづくり

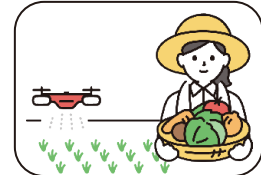
- ・小さいころから、遊びや学びをとおして考える力や、優しい心を育てます。
- ・学校では、勉強だけでなく、いろいろな考え方を大切にしながら学ぶことを大事にします。
- ・学校の外でも、地域での体験や活動をとおして、たくましく成長できるようにします。
- ・大人になってからも、新しいことを学び続けられる機会を大切にします。
- ・音楽や絵、伝統などの文化や芸術にふれ、スポーツで体を動かし、元気でいきいきとした毎日が過ごせるようにします。
- ・家族、学校、地域、まちのみんなが力を合わせて、子どもたちの成長を支えるまちを目指します。



### ③ 産業・観光・雇用

#### にぎわいと活力があふれるまちづくり

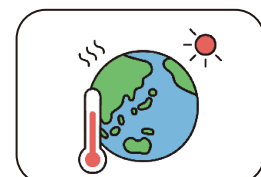
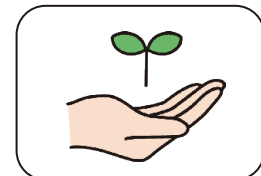
- ・行方市には、田や畑、湖などの自然といった、たくさんの素晴らしいものがあります。それを生かして、農業や漁業、ものづくりやお店の仕事を元気にします。
- ・行方市の良さを、たくさんの人に知ってもらい、遊びに来る人や、住んでみたいと思う人を増やします。
- ・会社や工場が出来やすいまちにして、働く場所を増やし、大人も子どもも安心して暮らせるようにします。
- ・まちの人、お店、会社が力を合わせて、行方市がこれからも元気に続くまちを目指します。



### ④ 防災・環境・エネルギー

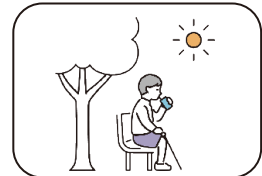
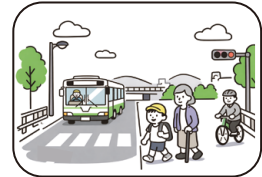
#### 災害に強く環境にやさしいまちづくり

- ・地震や大雨があっても、みんなの命を守るまちをつくりまします。
- ・近所の人同士で助け合い、壊れたままの家や危ない場所を減らします。
- ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)などの取組を進め、ごみを減らしながら、まちをきれいに保ちます。
- ・山や川、湖などの自然を守り、人の暮らしと昔から地域にいる生き物の環境を保ちます。
- ・災害などの問題につながる地球温暖化を防ぐため、電気などのエネルギーをむだにしない、これからもずっと住み続けられるまちを目指します。



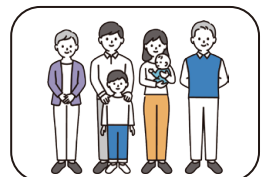
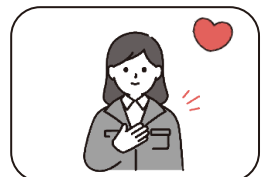
## ⑤ 暮らし・インフラ 便利で快適な住み良いまちづくり

- ・毎日安全に歩いたり、自転車に乗ったりできるよう、道路を整えます。
- ・バスや電車を使いやすくし、みんなが出かけやすいまちにします。
- ・家やお店、公園がバランスよく並び、暮らしやすいまちの形をつくれます。
- ・きれいな水が使える、よごれた水がきちんと流れるように、水道や下水道を大切にします。
- ・近くに公園や緑があり、ほっとできる場所があることで、安心で、便利で、気持ちよく暮らせるまちを目指します。



## ⑥ 行政マネジメント 新しい時代に合った持続可能なまちづくり

- ・まちのことは、市役所だけで決めるのではなく、地域の人や団体、近くのまちとも力を合わせて考えます。
- ・男の人も女の人も、だれもが意見が言えて、みんなに大切にされるまちをつくれます。
- ・市役所の手続きを、スマホやパソコンでできるようにして、早くて、わかりやすいサービスにします。
- ・むだを減らして、お金を大切に使いながら、人の気持ちに寄りそった市役所を目指します。



## 8 みんなで行う6つの大事なこと

みんなが安心して暮らせるまちをつくるためには、たくさんのやることがありますが、その中でも特に大事なことを6つ決め、力を入れて進めていきます。



「どれくらい進んでいるか」を確かめながら、より良いまちづくりを進めていきます。

1



近くのお医者さんにいつでもみてもらえるようにすることで、安心できるまちをつくること。

2



元気な子どもたちが育つまちや、安心して学ぶことができ、かんきょう環境をつくること。

3



新しい仕事をつくるなど、働く人を増やして、まちを元気にすること。

4



さいがい災害へのそな備えを進め、安心して暮らせるまちをつくること。

5



みんなの暮らしに必要な道路や水道などを整え、住みやすいまちをつくること。

6



何からやるかをよく考えて、みんなで力を合わせて、大事なことから進めること。



赤

『降りそそぐ太陽』

青

『霞ヶ浦・北浦』

黄緑

『豊かな自然』

# 行方市

NAMEGATA CITY

行方市 そうごうけいかく 総合計画・そうごうせんりやく 総合戦略 こ《子ども版》

発行 行：行方市

発行年月日：令和8年（2026年）3月

編集 集：行方市企画部企画政策課

〒311-3892 茨城県行方市麻生 1561-9（麻生庁舎）

<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/>